

津幡町地域包括支援センター における ネットワーク構築の実際

津幡町地域包括支援センター
社会福祉士 寺本紀子
2007. 9. 11

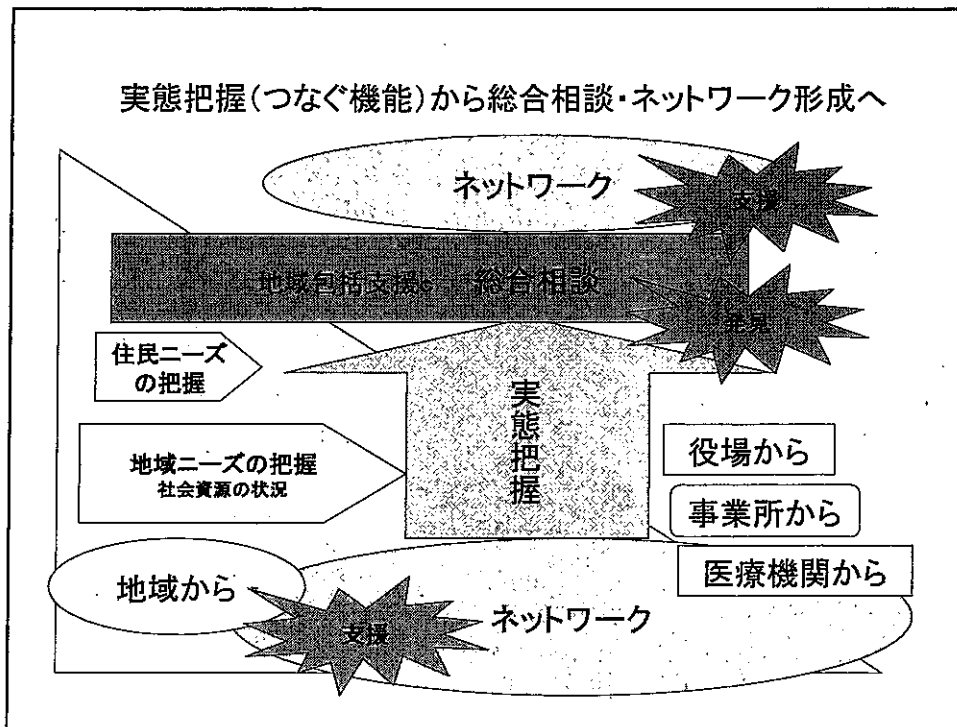
津幡町



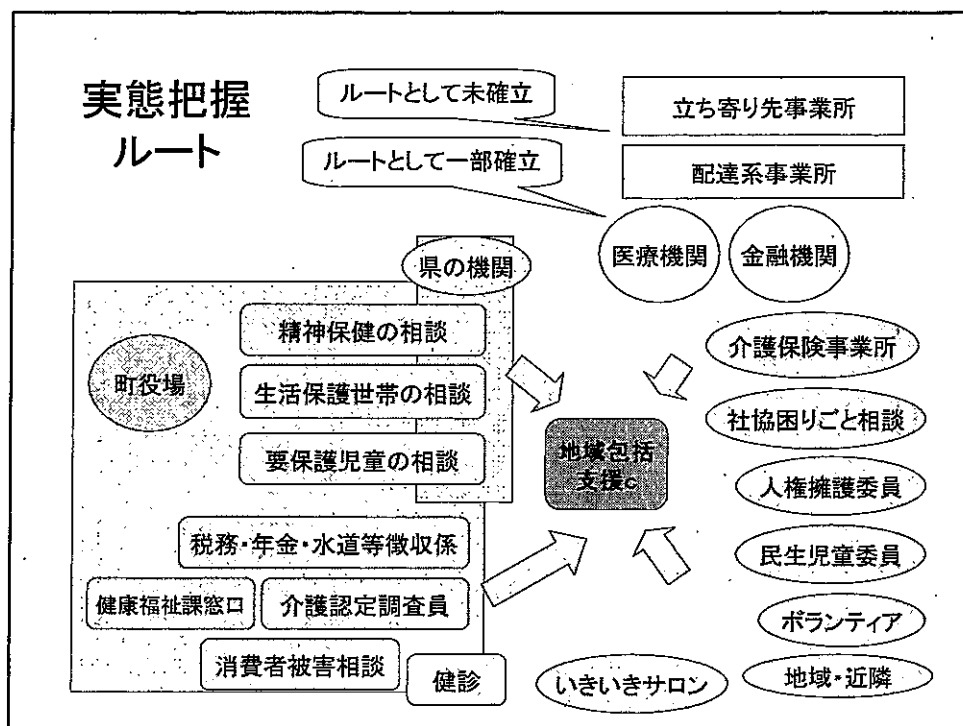
- 人口 36,772人
- 高齢化率 16.7%
- 地域包括支援センター
(町直営)
主任ケアマネ1人
保健師 1人→2人
社会福祉士 1人
(兼務)介護福祉士
作業療法士



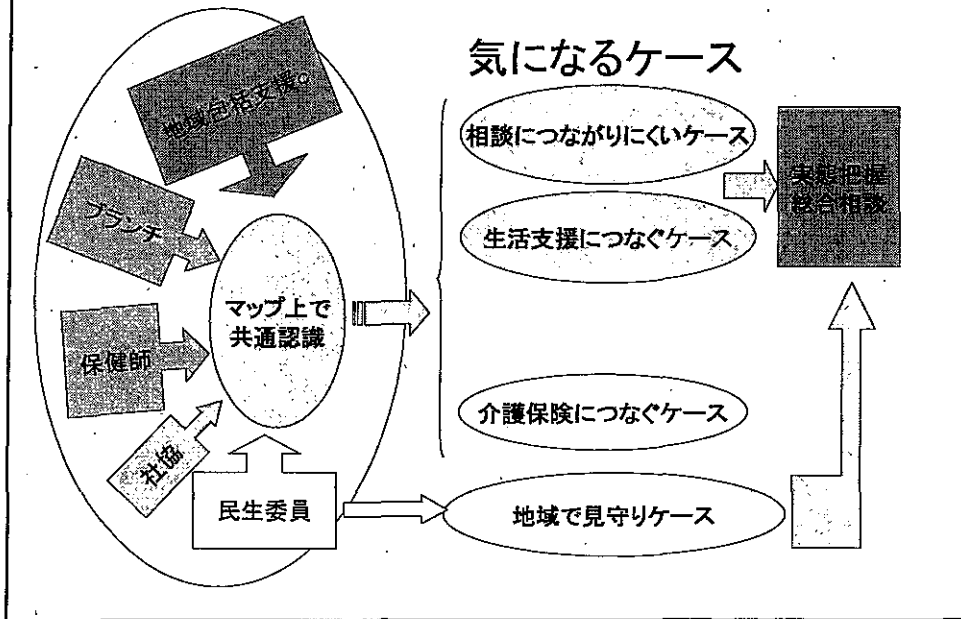
実態把握(つなぐ機能)から総合相談・ネットワーク形成へ



実態把握
ルート



民生委員との情報交換会から総合相談へ

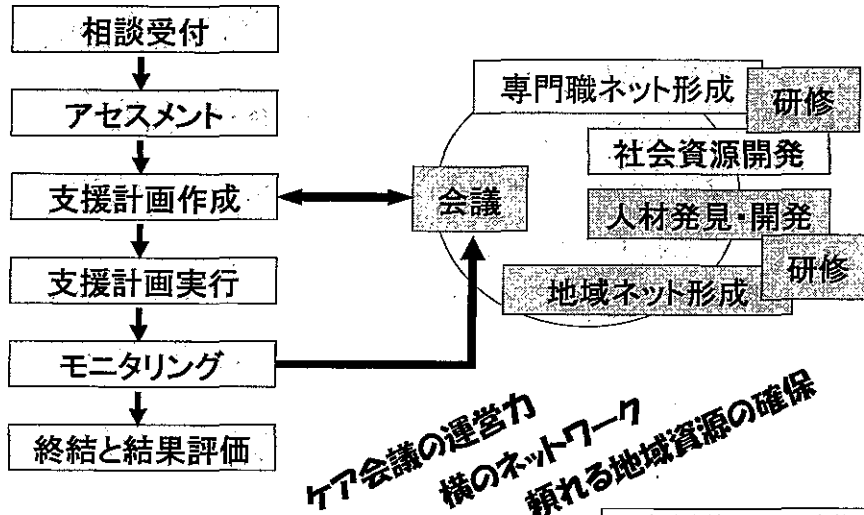


平成18年度民生委員との情報交換会

内容	数
介護保険未申請・認定切れ・サービス利用拒否	23
息子や孫の生活状況(無職・ひきこもり)など	17
障害のある人の日常生活、家族関係、将来の生活不安	12
高齢者の家族・近所関係	11
生活保護 金銭問題	9
不登校・非行・家庭内暴力	7
介護保険利用しているが不都合(介護疲れなど)	5
若年性アルツハイマー	1

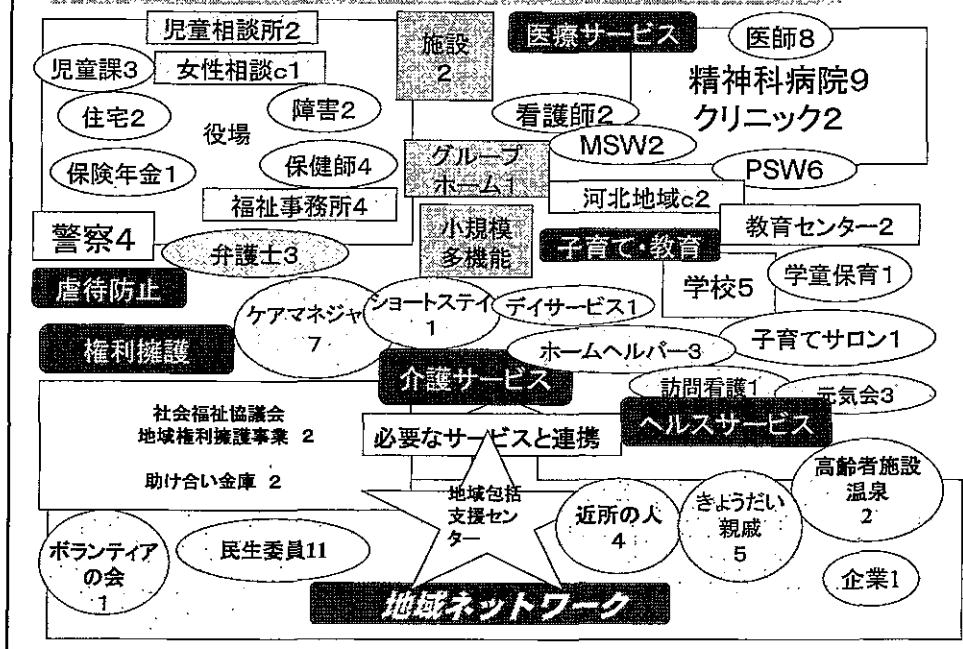
総合相談のプロセスとネットワーク形成

生活は総合的・包括的かつ継続的なもの→生活を支える総合相談も同様



那覇市島村氏作成図に加筆

多面的(制度横断的)支援ケースの展開



【ネットワークの機能】

1. ニーズ発見(発見機能)
2. 総合相談につなぐ、問題発見(相談連結機能)
3. 専門相談への対応・支援活動(介入機能)
4. 見守り(見守り機能)
5. 政策や制度の改善につなぐ(地域変革機能)

ネットワーク構築の実際で大事なこと

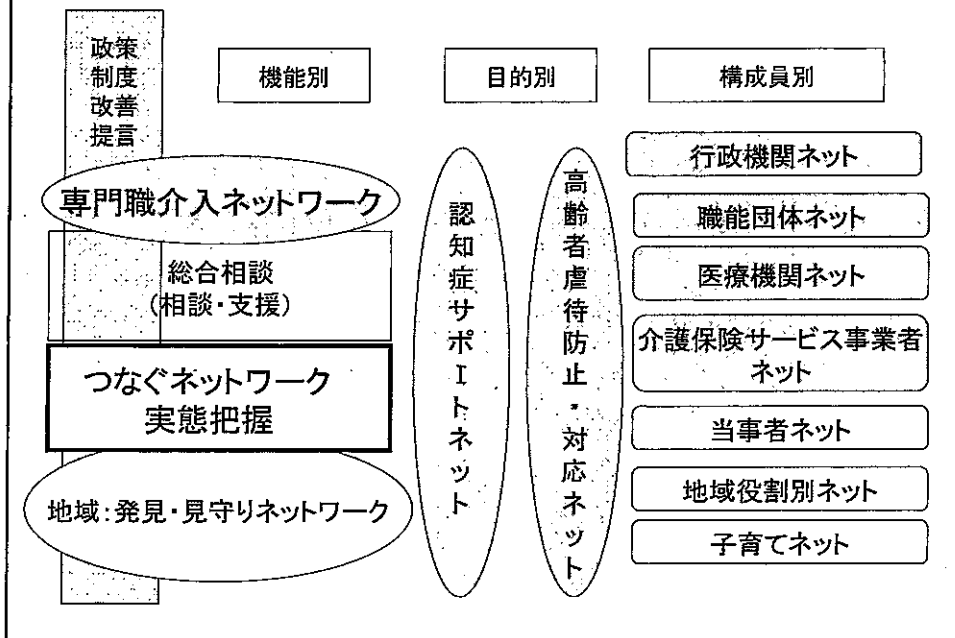
個別ニーズ対応ネットから恒常的ネットへ

個別ニーズ対応ネット(一時的だがほんとに必要なメンバー)

- 恒常化・定例化(他の個別ニーズにも対応できる)
- 役に立つネットの形成

- 当該ネットの担当を明確にし、共有すること
- ネットワーク構成メンバーの発想や力量をお互い知ること
- ネットワークの成長(衰退)状況をつかむ
使命が終わればネットも消えてよい
また、必要なネットが形成されていく
- 会議や連絡の場がネット形成促進の場になるための技術

ネットワークの形態



専門職ネットワーク

専門職会議形式のネットワーク

地域ケア会議 地域包括ケア会議	介護保険事業所等
地域ケア会議 職員研修委員会	介護施設若手職員
困難事例検討会	関係者・専門家
高齢者虐待対応ケア会議	関係者
高齢者虐待困難事例検討会	関係者・専門家・県保健福祉c
ヘルパー事例検討会	ヘルパー・ケアマネ・助言者
退院時ケアマネジメント会議	病院sw・Dr・ケアマネ等
サービス担当者会議	ケアマネ・関係者
精神に障害のある人の事例検討会	相談支援事業所・県保健福祉c
高齢者虐待対応マニュアル作成委員会	専門家による作成委員
子育て支援会議	子育て支援c・保健師・心理等
教育サポートチーム会議	教育c・学校・児相・警察等

専門職ネットワーク

研修会形式でネットワーク形成

★高齢者虐待防止・対応研修会 シリーズ

参加者： ケアマネ/ DS/ 訪看/ヘルパー/MSW/ GH職員
介護施設・障害者施設職員等 1回 30人～50人

- ①高齢者虐待対応における市町村の役割 (講師: 包括)
- ②家族のアセスメントを事例で学ぶ (講師: 包括+ケアマネ)
- ③経済的虐待ケースの対応 講演と事例検討 (講師: 弁護士+包括)
- ④ネットワーク形成～つなぐ技法と土台となる考え方～(講師: MSW)
- ⑤虐待ケース相談・対応の流れ～事例検討～ (講師: 社会福祉士)
- ⑥認知症の人を介護する家族への支援～虐待防止の視点から～
(講師: 病院PSW)

研修会・会議をネットワーク形成の場としてとらえる

1. 参加者がお互いを使える社会資源としてゲットする場に
その仕掛け⇒アイスブレイク 参加者への意識付け
2. チーム力を高める魅力ある会議・事例検討の工夫
→ジェノグラム、エコマップ、整理図を使用して事例検討
★事例の共通認識が早く出来、役割・責任の所在
を明確にし、役割の分担をおこなうことができる
★モニタリングやプランの変更も共有化できる

専門職ネットワーク

連絡会方式のネットワーク

★福祉職ネットワーク

(社会福祉士・精神保健福祉士中心)

地域包括の社会福祉士参加

月1回の勉強会

★ケアマネ連絡会

(地域包括からは主任ケアマネが参加)

研修会等

★グループホーム連絡会

(グループホーム職員・地域包括職員)

2ヶ月に1回の交流会

地域ネットワークの全体像

既存の機能

開発した機能

地域を知る

サービス利用状況等
データ分析

地域支え合いマップ作成

地域で支える

地域で見守る

自然な支え合い関係
を知りたい!

自然発生的地域の支え合い

地域の意識を変える

人権擁護委員

民生委員

見守りマップ

障害や認知症を排
除しない地域を
有

・百彩会

キャババンメイドの会

認知症サポーター養成

地域に認知症
の理解を

シルバー人材センター

高齢者(温泉)施設 人材開発会議

どんな人も出来る
ことで支え合う仕
組みを

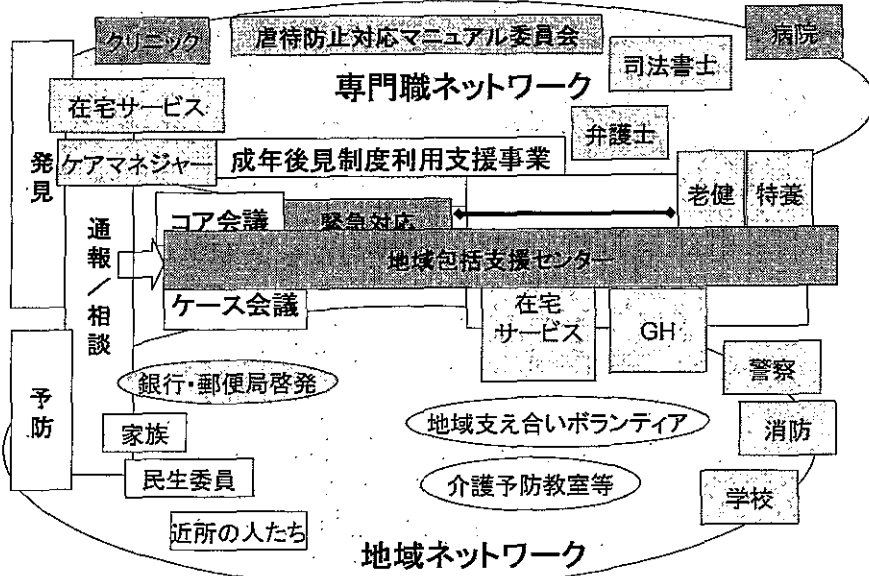
協買い物代行

地域支え合いボランティアの会

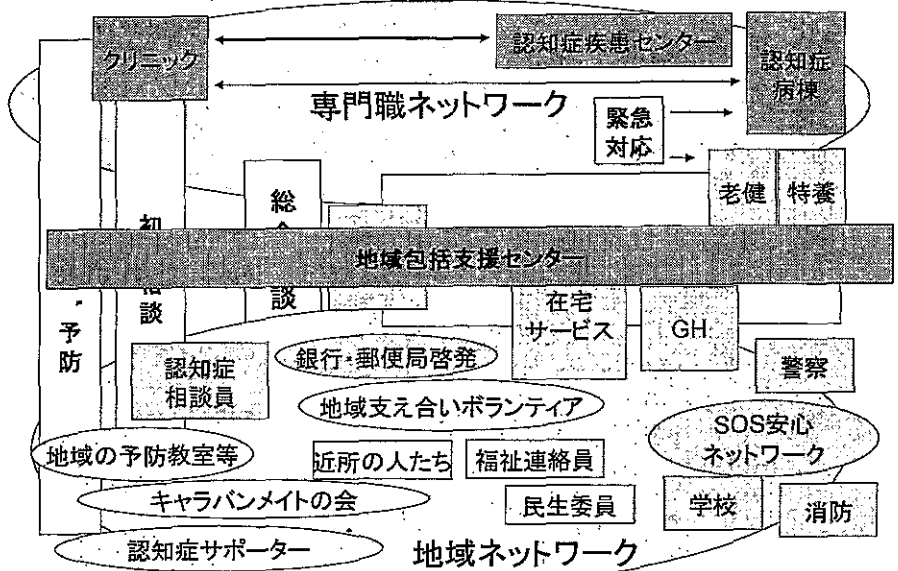
初期の認知症の混乱
に寄り添う
ピアカウンセリングを

認知症相談員

津幡町の高齢者虐待防止・対応ネットワーク



津幡町の認知症支援ネットワーク



地域支え合いマップ

地域の人とプロジェクトチームの共同作業で共通の地域理解を形成する

①地域にある様々な助け合いの相互関係・人材・資源の発見

②新たな資源開発・活用

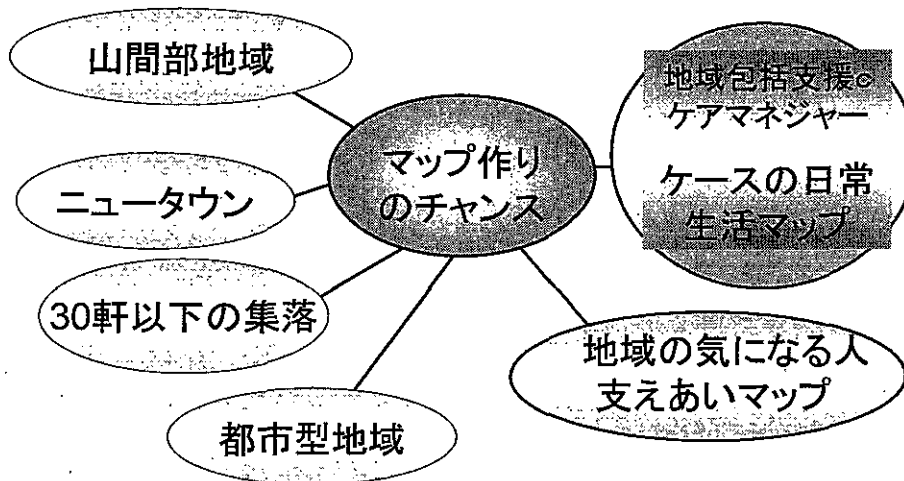
③小地域づくりの計画

プロジェクトチーム

民生児童委員 ボランティア連絡会 いきいきサロン
 障害者施設職員 ケアマネジャー 警察 消防
 教育委員会生涯教育課 役場防災担当
 健康福祉課 (事務局 地域包括 社協)

地域支え合いマップ
 プロジェクトチーム
 モデル事業として

日常の地域見守り
 支え合い 相談の中で



地域支え合いボランティアの会 ぶちはっぴー結の会

① ボランティア養成講座

高齢者も障害のある人も定年退職後の人も活躍
会長・副会長3人障害のある方です。

② 会結成

③ 活動

- ・個別ニーズ対応ボランティア活動
- ・セルフヘルプグループ活動
- ・事務局会議、運営会議
- ・活動交流会

地域支え合いボランティア養成講座 一人一人の希望を叶える助け合いの会を作りませんか

(2時間×6講座)

- ① ボランティアの基礎知識・支え合いの理念
- ② 当事者から聴く地域生活の楽しさ
・ひとり暮らしの高齢者・障
・精神に障害の
・認知症
・高齢者も障害のある人も支え手になれる！
誰もが支えたり、支えってもらったり
- ③ 地域生活の楽しさ
・地域生活の楽しさ
・地域生活の楽しさ
- ④ 地域生活の楽しさ
・地域生活の楽しさ
・地域生活の楽しさ
- ⑤ 地域生活の楽しさ
・地域生活の楽しさ
・地域生活の楽しさ
- ⑥ 地域生活の楽しさ
・地域生活の楽しさ
・地域生活の楽しさ

津幡キャラバン・メイトの会(みかん隊)

【対象】

いきいきサロン

老人クラブ

健康づくり推進委員

女性学級

中学校

クリーニング店

今後 警察・銀行
などへ拡大

H18度10～3月
〔6ヶ月〕9会場
認知症サポーター
198人

H19度4～8月
〔10ヶ月〕会場
認知症サポーター
326人

H19年9月1日現在
認知症サポーター
524人

H18年度 10人

メイト養成講座
H19. 6. 14
52人受講

H19年
キャラバンメイト
約40人に



認知症相談員

【初期相談】

認知症の初期の混乱に対応

介護サービス利用に至まで

ピアカウンセリング／専門職による相談

【相談員養成】

相談面接の技法

ピアカウンセリングの技法

【家族会立ち上げ】

高齢者施設(温泉)での支え合い活動 フリマーケット(ゆざや市)・常設展示

ここは
元気な老人の施設

ここは
いろいろな人がいてもいい施設

~~認知症の人~~

~~障害のある人~~

あんたらの
来る所でないよ

知的障害のある人

認知症の人

ボランティア

地域の若い人

ゆざや市

精神に障害のある人

元気な高齢者

介護施設を利用している人

車椅子に乗っている人

自然に混ざり合っている感じ



地域ネットワークでの地域包括の役割

- 1 現状を知る
実態把握
人材・資源発見

見つけて

- 2 活用する
人材・資源活用
人材・資源の活性化
人材と人材をつなぐ
資源と資源をつなぐ

活かして

- 3 開発する
人材養成
資源開発

無いものは
つくって

- 4 地域づくりへ
小地域福祉計画作成

かたちにする